



2024年度第1四半期 サステナビリティ活動報告



マテリアリティ1：お客様の安心・安全

～お客様第一主義として安心・安全は欠かせられず、当社がお客様へ果たすべき必要不可欠な課題です～

取組みテーマ（2）災害への備え



■ポルタ 厨房自主点検を毎月実施



■止水板設置訓練の実施（6月）

ポルタの警備・設備を対象とした止水板設置訓練を実施

マテリアリティ2：事業活動による社会貢献

～当社は、横浜駅東口エリアの集客や賑わいの創出を担い、地域・社会の発展に貢献します～

取組みテーマ（1）地域社会との連携強化



■東口周辺の清掃活動に参加（5月）



■新都市ビル はまテラスの活用

リサイクルマーケット（2回）
マルシェ（6回）
自社主催イベント（4回）



マテリアリティ3：働き方・健康配慮

～社員や店舗スタッフが健康で意欲的に働き続けられることが、お客様をお迎えする大前提となります～

取組みテーマ（2）事業に携わる従業員一人ひとりの満足度向上

- ポルタ テナント間のコミュニケーション強化と懇親を目的とした店長交流会を実施（5月）

マテリアリティ4：コンプライアンスの遵守

～企業として社会的信用は必要不可欠であり、会社存続の基本と考えています～

取組みテーマ（1）個人情報セキュリティの強化（2）重要法令の遵守

- 事故等コンプライアンス違反等判定専門部会の開催
- 全社員を対象に「メンタルヘルスケア」の通信教育を実施

マテリアリティ5：環境への配慮・維持

～世界的な重要課題として、取り組むことが当然の項目と考えています～

取組みテーマ（1）廃棄物の削減・再利用



■Jバイオフードリサイクル工場見学（6月）

今年度からポルタの食品廃棄物のリサイクル処理を委託している「Jバイオフードリサイクル」の工場見学を社員を対象に実施。当社施設から排出される食品廃棄物がどのように処理されているか確認し、SDGsに対する理解を深めた。

■ポルタ 食品リサイクルの開始（4月）

取組みテーマ（2）フードロスの削減



■クラフトビールフェスの開催（5月）

神奈川県地元ブルワリーが出店するクラフトビールフェスを開催。会場ではリユースカップを使用しごみの削減を図るほか、横浜の地場野菜を使用したおつまみを販売し、地産地消に貢献。

■大学マルシェの開催（4月～6月）

地産地消によるSDGsの実現を目指す学生たちが運営する「大学マルシェ」SDGsや季節の食材などの情報も地域に発信

当社の廃棄物・フードロス削減に関する計量実績報告

ポルタ廃棄物量と資源化率

(単位：t)

	一般ごみ	生ごみ	その他資源ごみ	全体量	資源化率
4月	24.8	28.3	38.7	91.8	73%
5月	24.5	32.2	31.4	88.1	72%
6月	21.8	30.8	30.2	82.8	74%
合計	71.1	91.3	100.3	262.7	73%



※一般ごみ以外は資源化

新都市サービス直営店4店舗の食品ロス量

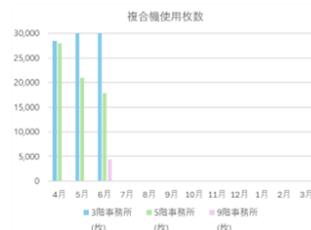
(単位：kg)

	プロント横浜店	プロント三井店	BP横浜店	BP川崎店
4月	22.4	2.5	96.7	59.2
5月	29.1	1.7	72.3	59.5
6月	24.5	1.9	53.1	49.1
合計	76.0	6.1	222.1	167.8



複合機出力枚数

	3階事務所 (枚)	対前年増減率(%)	5階事務所 (枚)	対前年増減率(%)	9階事務所 (枚)	全事務所計 (枚)	対前年増減率(%)
4月	28,429	▲ 12.3	27,959	11.2	—	56,388	▲ 2.0
5月	47,626	11.3	20,938	▲ 21.2	—	68,564	▲ 1.1
6月	42,720	21.8	17,911	▲ 31.6	4,394	65,025	6.1
合計	118,775	7.7	66,808	▲ 14.2	4,394	189,977	1.0



シュレッダー排出量

(kg)

	3階本社	5階事業部	全社合計
4月	73.7	16.4	90.1
5月	75.7	15.4	91.1
6月	70.4	18.3	88.7
合計	219.8	50.1	269.9

